

平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月8日

上場会社名 日本パワーファスニング株式会社
 コード番号 5950 URL <http://www.jpfn-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土肥 雄治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 小西 良幸
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 大

TEL 06-6442-0951

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	6,805	13.8	80	—	△12	—	△144	—
21年12月期第3四半期	5,980	—	△416	—	△488	—	△745	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	△8.10	—
21年12月期第3四半期	△41.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	12,647	4,435	28.5	202.76
21年12月期	12,798	4,744	32.2	231.55

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 3,609百万円 21年12月期 4,127百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年12月期	—	0.00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	0.00 ～2.00	0.00 ～2.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

期末の配当金につきましては、0円00銭～2円00銭とさせていただきます、今後の業績等を総合的に勘案した上で判断する予定であります。

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	18.4	290	—	200	—	50	—	2.81

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）、
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期3Q 18,688,540株 21年12月期 18,688,540株
② 期末自己株式数 22年12月期3Q 887,575株 21年12月期 865,354株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 22年12月期3Q 17,811,504株 21年12月期3Q 17,826,920株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間(3ヶ月間)における日本経済は、前年同期間と比べ、新興国の需要拡大による輸出の回復や政府の緊急景気対策の効果等により、一部で円高による悪影響が表れているものの回復基調で推移いたしました。

当社グループに関連が深い建築市場におきましては住宅版エコポイント等の住宅政策の効果や民間設備投資の回復による一般建築市場の需要持ち直し等により回復傾向で推移いたしました。一方の自動車・家電市場におきましてもエコ家電やエコカー等に関連した政策効果により回復傾向で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループは総合ファスニングメーカーとして、作業性、耐久性、耐震性、そして環境保全に適合する付加価値の高い製品の開発・販売に取り組みました。また、収益改善策として中国現地法人への生産移管の促進や人件費の抑制等による固定費の削減等の収益改善活動を実施しました。さらに、新たな事業として第1四半期連結会計期間から立ち上げました太陽光発電パネル組立事業も順調に推移いたしました。

以上のような事業活動の結果、当第3四半期連結会計期間(3ヶ月間)の経営成績につきましては、売上高は2,336百万円(前年同期比10.6%増)、経常利益は7百万円(前年同期は120百万円の経常損失)となり、四半期純損益は25百万円の損失(前年同期は232百万円の四半期純損失)となりました。

当第3四半期連結会計期間(3ヶ月間)における事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

[建築用ファスナー及びツール関連事業]

当事業の主力市場である住宅の着工につきましては、住宅政策の効果により、新設住宅着工戸数は前年同期比13.8%増で推移しました。このような環境のもと、当社グループは主力製品であるドリルねじ及び石膏ボード用特殊ねじ等の全社的な拡販活動を行い新たな受注を獲得し、また、太陽光発電パネル組立事業の立ち上げも順調に実施することが出来ました。その結果、外部売上高は1,631百万円(前年同期比6.8%増)となり、営業利益は18百万円(前年同期は56百万円の営業損失)となりました。

[自動車・家電等部品関連事業]

自動車業界並びに家電業界につきましては、特に自動車生産が好調に推移し、その国内生産台数は前年同期比15.8%の増加となり、当事業関連の製品需要も増加いたしました。

このような需要増に対して、供給体制を整えるとともに品質向上や原価低減等の活動を行いました。その結果、外部売上高は702百万円(前年同期比20.6%増)となり、営業利益は43百万円(前年同期比343.9%増)となりました。

当第3四半期連結会計期間(3ヶ月間)における所在地別セグメントの概況は次のとおりであります。

[日本]

日本国内は、自動車市場の回復、建築用ねじの拡販及び太陽光発電パネル組立事業の開始等により、外部売上高は2,246百万円(前年同期比11.1%増)となり、営業利益は33百万円(前年同期は68百万円の営業損失)となりました。

[中国]

中国現地法人につきましては、日系自動車部品メーカーの中国工場への納入が回復したことより、外部売上高は86百万円(前年同期比0.2%減)のほぼ横ばいでしたが、親会社向けの売上高の増加等により、営業利益は23百万円(前年同期は11百万円の営業損失)となりました。

なお、平成22年12月期第1四半期及び第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成22年12月期第1四半期決算短信(平成22年5月7日開示)及び第2四半期決算短信(平成22年8月9日開示)をそれぞれ参照ください。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりです。

前連結会計年度末と比較し、総資産は151百万円減少の12,647百万円となりました。これは現金及び預金の減少や株式市場下落による投資有価証券の評価減の計上等が主な要因であります。

負債につきましては、支払手形及び買掛金やリース債務の増加等により、負債合計は前連結会計年度末比157百万円増加の8,211百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純損失やその他有価証券評価差額金の計上等により、純資産合計は前連結会計年度末比308百万円減少の4,435百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は公表しております見通しを下回っている状況であります。最大の懸念事項であります建築着工及び自動車生産の動向が現状では予想し難いことなどから、平成22年8月9日に公表しました業績予想は変更しておりません。今後、業績予想に関して修正する必要性が生じた時点で速やかに開示する予定であります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度以降に経営環境等、並びに一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,116,237	1,460,966
受取手形及び売掛金	2,111,934	2,616,791
電子記録債権	707,631	-
商品及び製品	1,269,254	1,232,177
仕掛品	325,485	332,360
原材料及び貯蔵品	682,217	554,829
繰延税金資産	20,618	8,987
その他	727,491	588,762
貸倒引当金	8,228	11,921
流動資産合計	6,952,642	6,782,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,555,892	1,614,258
機械装置及び運搬具(純額)	1,055,391	1,208,879
土地	1,778,893	1,780,215
その他(純額)	374,968	238,502
有形固定資産合計	4,765,145	4,841,856
無形固定資産	106,847	118,685
投資その他の資産		
投資有価証券	540,578	768,216
繰延税金資産	82,985	80,390
その他	227,369	230,603
貸倒引当金	28,131	23,839
投資その他の資産合計	822,801	1,055,371
固定資産合計	5,694,794	6,015,913
資産合計	12,647,437	12,798,868

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,654,297	1,571,785
短期借入金	2,193,423	2,358,868
1年内返済予定の長期借入金	884,594	809,246
未払法人税等	39,466	26,375
賞与引当金	43,937	7,390
その他	513,806	552,673
流動負債合計	5,329,524	5,326,340
固定負債		
長期借入金	2,314,813	2,251,621
退職給付引当金	153,501	147,308
役員退職慰労引当金	37,722	31,652
その他	376,207	297,413
固定負債合計	2,882,244	2,727,995
負債合計	8,211,768	8,054,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,550,000	2,550,000
資本剰余金	1,638,786	1,888,916
利益剰余金	179,166	284,942
自己株式	151,945	149,579
株主資本合計	3,857,674	4,004,394
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	235,017	33,938
土地再評価差額金	60,906	60,906
為替換算調整勘定	74,287	27,788
評価・換算差額等合計	248,398	122,634
少数株主持分	826,392	617,503
純資産合計	4,435,668	4,744,532
負債純資産合計	12,647,437	12,798,868

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	5,980,964	6,805,007
売上原価	4,796,249	5,210,168
売上総利益	1,184,715	1,594,838
販売費及び一般管理費	1,601,189	1,513,999
営業利益又は営業損失()	416,473	80,839
営業外収益		
受取利息	1,279	1,174
受取配当金	5,201	8,142
助成金収入	12,295	4,551
その他	13,290	8,195
営業外収益合計	32,066	22,064
営業外費用		
支払利息	60,678	60,807
為替差損	-	28,705
その他	43,533	25,564
営業外費用合計	104,212	115,077
経常損失()	488,619	12,174
特別利益		
持分変動利益	-	10,967
投資有価証券売却益	-	6,319
貸倒引当金戻入額	-	4,511
固定資産売却益	56,193	-
受取和解金	2,700	-
その他	6,476	-
特別利益合計	65,369	21,797
特別損失		
投資有価証券評価損	-	85,767
訴訟関連費用	-	4,518
減損損失	1,046	1,322
特別退職金	102,583	-
たな卸資産評価損	90,947	-
その他	2,535	410
特別損失合計	197,112	92,018
税金等調整前四半期純損失()	620,362	82,394
法人税等	159,124	45,114
少数株主利益又は少数株主損失()	33,885	16,844
四半期純損失()	745,601	144,353

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,112,233	2,336,669
売上原価	1,650,811	1,786,245
売上総利益	461,421	550,423
販売費及び一般管理費	524,562	506,982
営業利益又は営業損失()	63,140	43,441
営業外収益		
受取利息	342	341
受取配当金	530	689
助成金収入	3,724	3,657
その他	3,330	801
営業外収益合計	7,927	5,489
営業外費用		
支払利息	19,892	18,611
為替差損	35,054	10,609
その他	9,883	12,395
営業外費用合計	64,830	41,615
経常利益又は経常損失()	120,043	7,315
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	4,511
受取和解金	2,700	-
その他	204	-
特別利益合計	2,904	4,511
特別損失		
投資有価証券評価損	-	8,418
特別退職金	102,583	-
その他	-	148
特別損失合計	102,583	8,566
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	219,722	3,260
法人税等	13,581	18,164
少数株主利益又は少数株主損失()	376	10,487
四半期純損失()	232,927	25,390

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	620,362	82,394
減価償却費	305,278	306,973
のれん償却額	3,388	699
減損損失	1,046	1,322
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,101	599
退職給付引当金の増減額(は減少)	66,737	6,192
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,347	6,070
受取利息及び受取配当金	6,480	9,317
支払利息	60,678	60,807
持分変動損益(は益)	-	10,967
為替差損益(は益)	901	29,728
持分法による投資損益(は益)	-	4,645
投資有価証券売却損益(は益)	-	6,319
投資有価証券評価損益(は益)	-	85,767
会員権評価損	-	148
固定資産売却損益(は益)	56,017	-
固定資産除却損	-	2,124
たな卸資産評価損	90,947	-
売上債権の増減額(は増加)	454,099	223,649
たな卸資産の増減額(は増加)	432,555	194,326
未収入金の増減額(は増加)	188,333	107,383
仕入債務の増減額(は減少)	544,304	96,212
未払消費税等の増減額(は減少)	26,452	15,587
その他	134,090	31,270
小計	342,515	79,924
利息及び配当金の受取額	6,471	9,327
利息の支払額	65,545	60,974
法人税等の支払額	18,468	61,699
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,973	193,271
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	338,441	167,331
有形固定資産の売却による収入	410,138	1,329
投資有価証券の取得による支出	8,962	72,442
投資有価証券の売却による収入	-	10,769
子会社株式の取得による支出	7,637	-
関係会社株式の取得による支出	-	79,735
会員権の売却による収入	-	3,000
補助金収入	11,200	-
その他	7,122	3,231
投資活動によるキャッシュ・フロー	73,419	307,642

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	267,000	153,578
長期借入れによる収入	1,440,000	850,000
長期借入金の返済による支出	1,208,097	711,460
セール・アンド・リースバックによる収入	109,853	-
リース債務の返済による支出	17,990	33,885
少数株主からの払込みによる収入	-	250,000
自己株式の取得による支出	741	2,366
配当金の支払額	35,663	-
少数株主への配当金の支払額	3,300	4,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,061	194,310
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,682	38,125
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	347,771	344,729
現金及び現金同等物の期首残高	839,061	1,460,966
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,186,833	1,116,237

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

	建築用ファスナー及びツール関連事業 (千円)	自動車・家電等部品関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	4,531,518	1,442,468	5,973,986	6,977	5,980,964
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	35,801	94,775	130,576	(130,576)	-
計	4,567,319	1,537,243	6,104,563	(123,598)	5,980,964
営業損失()	306,473	61,113	367,587	(48,886)	416,473

(注) 1. 顧客マーケット及び損益集計区分に照らし、事業区分を行っています。

2. 各事業区分の主な製品

- (1) 建築用ファスナー及びツール関連事業...ドリルねじ、石膏ボード用特殊ねじ、ドライウォール用特殊ねじ、ALC用特殊ねじ、木造用耐震ねじ、コンクリート用特殊ねじ、コンクリート用アンカー、あと施工アンカー、特殊ピン、特殊ネイル、座金組込ナット、住宅用締結金具、ねじ連続打込機、ガス式びょう打機
- (2) 自動車・家電等部品関連事業.....座金組込ねじ、座金組込ナット、波形ばね座金、歯付き座金、一般産業用締結金具

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日公表分)を適用し、評価基準については、主として先入先出法による原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業損失が、建築用ファスナー及びツール関連事業で30,667千円、自動車・家電等部品関連事業で17千円それぞれ増加しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	建築用ファスナー及びツール関連事業 (千円)	自動車・家電等部品関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	4,729,441	2,066,706	6,796,147	8,860	6,805,007
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	31,587	123,427	155,015	(155,015)	-
計	4,761,028	2,190,134	6,951,162	(146,155)	6,805,007
営業利益又は営業損失()	2,414	130,764	128,350	(47,511)	80,839

(注) 1. 顧客マーケット及び損益集計区分に照らし、事業区分を行っています。

2. 各事業区分の主な製品

- (1) 建築用ファスナー及びツール関連事業...ドリルねじ、石膏ボード用特殊ねじ、ドライウォール用特殊ねじ、ALC用特殊ねじ、木造用耐震ねじ、コンクリート用特殊ねじ、コンクリート用アンカー、あと施工アンカー、特殊ピン、特殊ネイル、座金組込ナット、住宅用締結金具、ねじ連続打込機、ガス式びょう打機、太陽光発電パネル
- (2) 自動車・家電等部品関連事業.....座金組込ねじ、座金組込ナット、波形ばね座金、歯付き座金、一般産業用締結金具

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,746,971	227,015	5,973,986	6,977	5,980,964
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	753,343	753,343	(753,343)	-
計	5,746,971	980,358	6,727,330	(746,365)	5,980,964
営業損失()	368,355	36,309	404,665	(11,808)	416,473

(注) 1. 国又は地域の区分は、当社及び連結子会社の所在国によっております。

2. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)を適用し、評価基準については、主として先入先出法による原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業損失が日本で30,685千円増加しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,531,118	265,029	6,796,147	8,860	6,805,007
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	979,281	979,281	(979,281)	-
計	6,531,118	1,244,311	7,775,429	(970,421)	6,805,007
営業利益	62,647	79,639	142,286	(61,447)	80,839

(注) 国又は地域の区分は、当社及び連結子会社の所在国によっております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

海外売上高の合計が連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

海外売上高の合計が連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

資本準備金及び利益準備金の額の減少

会社法第448条の規定により、平成22年3月30日開催の定時株主総会決議に基づき、平成22年5月6日付で資本準備金を601,111千円減少し、その他資本剰余金を同額増加いたしました。また、利益準備金を264,584千円減少し、繰越利益剰余金を同額増加いたしました。

剰余金の処分

会社法第452条の規定により、平成22年3月30日開催の定時株主総会決議に基づき、上記の資本準備金及び利益準備金の額の減少の後、平成22年5月6日付でその他資本剰余金を250,130千円減少し、繰越利益剰余金を同額増加いたしました。